

# UN-HABITAT PRESS 国連ハビタットプレス

## vol.2

### 特集 水とまち



2025年には深刻な水不足に悩む人びとが世界人口の2/3にのぼります。

## 世界の水と衛生の現状

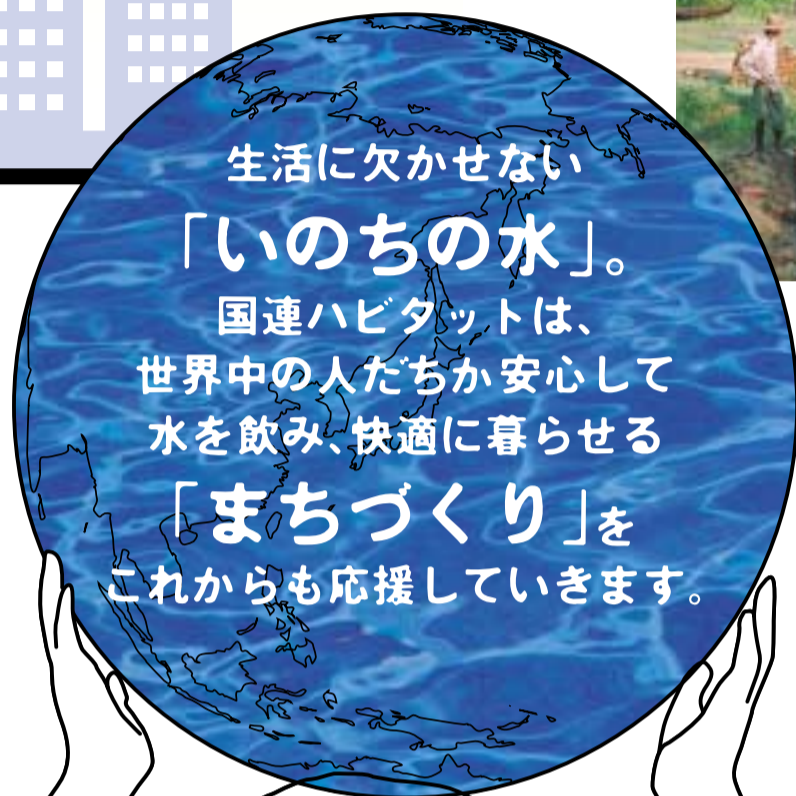
現在、多くの人びとが安全な水を十分に手に入れることが出来ておらず、命の危機にさらされながら暮らしています。

現状1 世界の**5**人に**1**人(約11億人)が安全な水を飲めない。

現状2 世界の**5**人に**2**人(約24億人)が下水などの衛生施設を持たない。

現状3 毎日約**6,000**人の子ども達(特に5歳以下)が、下痢など水関連の病気で死亡している。

現状4 世界人口の**半分**が都市に集中。発展途上国の都市人口の**半分以上**が安全な水や適切な衛生を確保できない。



生活に欠かせない「いのちの水」。  
国連ハビタットは、世界中の人たちが安心して水を飲み、快適に暮らせる「まちづくり」をこれからも応援していきます。

## Water & Cities



「ミレニアム開発目標」って何?

## 「ミレニアム開発目標」= 21世紀に向けた国際社会の行動目標



「ミレニアム開発目標」は、1990年代に行われた主要な国際会議やサミットで策定された「国際開発目標」と、2000年9月、ニューヨークで開催された国連ミレニアム・サミットで21世紀の国際社会の目標として採択された「国連ミレニアム宣言」の二つを統合し、一つの共通の枠組みとしてまとめたものです。

自治体などからのサービスを受けられないスラムに住む貧しい人びとは、水や衛生設備の利用のために公共のサービスを受けている一般の人びとよりも、もっと多くのお金を業者に支払っていると言われます。安全な水や適切な公衆衛生が普及すれば、これらの人びとは不必要な出費を抑えることができ、貧困の削減につなげることができるのです。国連はこうした状況の改善に向け、「ミレニアム開発目標」という具体的な目標を設定し、その実現を約束しています。



### 「ミレニアム開発目標」の掲げる8つの目標

国連ハビタットは7番目の「持続可能な環境の確保」に取り組んでいます。

- 1 極度の貧困と飢餓の撲滅
- 2 初等教育の達成
- 3 ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上
- 4 幼児死亡率の削減
- 5 妊産婦の健康の改善
- 6 エイズ、マラリアなどの蔓延防止
- 7 持続可能な環境の確保……
- 8 開発のためのグローバル・パートナーシップの構築

### 「ミレニアム開発目標」における国連ハビタットの取り組み

- 01 持続可能な開発の原則を各国の政策や戦略に反映させ、環境資源の破壊をやめるとともにその回復を図ること。
- 02 2015年までに安全な飲み水を利用できない人々の割合を半減すること。
- 03 2020年までに最低1億人のスラム居住者の生活を大幅に改善すること。

制作協力: 倉田 野依

## ある町のあるお話

衛生状態を良くすることは、貧しい人びとが病気の治療などに支払わなければならないお金を減らすことにつながります。不衛生な環境改善の取り組みは、貧困を減らすことにも貢献しているのです。

### ▶▶ カンボジア

カンボジアのあるコミュニティでは、ほとんどの家にトイレがなく、人びとは川で用を足していました。雨期や夜は特に危険で、多くの子どもが川に落ちて命を落としていました。また、同じ川の水を洗濯や水浴びのために使用するため、病気の感染も広がっていました。多くの人びとが家の周りで用を足すので、悪臭やハエが発生し、衛生状態はよくありませんでした。

このコミュニティは国連ハビタットに協力してもらって、いくつかの家族ごとに共同で使えるトイレを作ることになりました。人びとはトイレの作り方を教えてもらいながら、自分たちでトイレを完成させました。多くの人びとの

協力により、用意していたお金が少し余ったので、コミュニティの人びとは話し合いを行い、小学校の敷地の中にもトイレを作ることになりました。

トイレができた結果、寄生虫の病気にかかる人や川に落ちて亡くなる子どもの数は、減りました。また、家の周りの悪臭やハエも消えました。人びとは以前より自分の家(特にトイレ)の衛生状態に気を配るようになりました。小学校にトイレが整備され、今後、衛生や健康に関する意識が向上していくことも期待されています。

### ▶▶ バングラデシュ

バングラデシュの貧しい家庭が集まる地域では、衛生の知識が行き通っておらず、衛生設備は整っていませんでした。そのため、池に直接排泄物が流れ、有害な物質が浅い井戸に染み込み、水を汚染することが多くありました。飲み水や料理に使う水は、そのような不衛生な池や汚染された井戸から取ってくるため、特に女性や子どもが病気になる状況がありました。

そこで、国連ハビタットでは、コミュニティに住む人びとの健康状態の改善をすることにしました。そして、「不衛生な環境、公害、排水設備の不備や安全な飲み水の不足などから病気を減らそう」という目標を立てました。まず、地域の人

びとと水の利用の仕方を話し合い、水源となる井戸を深く掘り下げることで有害物質が混ざらないようにしました。また、洗濯や食器を洗う場所はコンクリートで地表に層を作り、人体に害となる物質が水中に溶け込んだりしないようにしたため、水廻りをきれいに保つことができるようになりました。

地域住民が自分達の手で作業に取り組むことにより、技術を習得したり仕事のない人が仕事を得ることが可能になりました。衛生環境を改善するだけでなく、地域住民が健康的・活動的に過ごせるようになりました。



UN-HABITAT  
United Nations Human Settlements Programme



国連ハビタット(国際連合人間居住計画)福岡事務所は、アジア・太平洋地域における開発途上国の居住問題に取り組むとともに、住民全体の「まちづくり」を推進している九州唯一の国連機関です。

## 国際連合ハビタット福岡事務所

〒810-0001 福岡市中央区天神アクロス福岡8階

TEL.092-724-7121 FAX.092-724-7124

www.fukuoka.unhabitat.org